



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

理化学研究所 平成 17 年度 基礎科学特別研究員

1. 特別研究員 60 名程度
3. 物理学、化学、生物科学、医科学、工学の各分野で、理化学研究所で実施可能な研究。
5. 平成 17 (2005) 年 4 月 1 日
6. 平成 17 年 4 月 1 日現在 35 歳未満で、自然科学の博士号取得者またはこれと同等の能力を有すると認められる者。
※日本国に永住権を有さない外国人にあつては、上記に加え次の条件を満たす者。・応募日現在に日本国に在住している者。・日本国の大学院博士課程を修了（見込を含む）し、博士号を取得（見込を含む）の者。
●応募要項頒布：頒布開始は 4 月上旬予定。応募要項の請求は、下記 Fax または e-mail へ・郵便番号・住所・氏名（漢字）・氏名（カタカナ）を記入し、送信すること。※要項代は無料
8. 応募願書の締切：平成 16 年 5 月 31 日（月）必着
9. 問合せ先：〒351-0198 和光市広沢 2-1
独立行政法人 理化学研究所研究調整部研究交流課
基礎科学特別研究員担当
Tel: 048-467-9268(直通) Fax: 048-463-3687
e-mail: wakate@riken.jp
11. その他：本件は当研究所予算の成立を前提としており、その事情により変更がありえる。

東京大学大学院理学系研究科助手

1. 助手 1 名
2. (1) 物理学専攻 宇宙理論研究室
(宇宙物理学・宇宙論)
(2) 東京都文京区本郷 3-2-1
3. 宇宙物理学・宇宙論
4. 宇宙物理学、宇宙論の理論的研究、特に素粒子、原子核、相対論に関連した宇宙現象の解明、および初期宇宙に関する分野が望ましい。学部学生と大学院生の教育・研究指導にも協力していただきます。
5. 決定後できるだけ早い時期。
6. 着任時において博士の学位を有すること。
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文別刷 5 編以内（コピー可）、(4) これまでの研究の概要と今後の抱負（A4 5 頁程度）、(5) 照会可能な方 2 名の連絡先、勤務先住所 e-mail address、電話・Fax 番号。
8. 2004 年 4 月 31 日（金）必着。
9. (1) 書類送付先：113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院理学系研究科・物理学専攻 佐藤勝彦
(2) 問合せ先：佐藤勝彦（Tel: 03-5841-4207 あるいは 4000）
e-mail: sato@phys.s.u-tokyo.ac.jp10.
「宇宙理論研究室・助手・応募」と封筒の表に朱書き、簡易書留で郵送して下さい。応募書類は原則として返却いたしません。

名古屋大学大学院理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻教官

1. 助教授 1 名
2. 素粒子宇宙物理学専攻、光赤外線天文学研究室（Z 研）
3. 光赤外線天文学の研究
4. 決定後できるだけ早い時期
5. 大学院博士課程終了またはそれと同等以上の方

6. ○履歴書
 - 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）
 - 研究計画
 - 業績リスト（査読論文とそれ以外を区別し、共著の主論文には役割分担を記すこと）
 - 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
7. 2004年4月30日(金)必着
8. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科物理学教室
主任 鈴木順三
- (2) 問合せ先 名古屋大学大学院理学研究科
物理学教室 佐藤修二
Tel: 052-789-2923
9. (1) 封筒に「光赤外線天文学助教応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。
- (3) 応募書類は、特に申し出がない限り返却しない。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

立教大学理学部物理学科助手

1. 2003年9月（第96巻9号）
2. 大須賀 健（京都大学基礎物理学研究所）
3. 2004年4月1日

国立天文台電波天文学研究系教授

1. 2003年11月（第96巻11号）
2. 坪井昌人（茨城大学）
3. 2004年2月1日

会務報告

【理事会議事録】

日 時：2004年1月10日（土）11:00～16:00

場 所：国立天文台大会議室

出席者：松田，祖父江，若松，杉山，郷田，関井，松原，蜂巣，土橋，土居，田，谷口，粟木，佐藤

欠席者：花見

有効委任状提出者：なし

ほかに，東條事務長が参加した。

議事に先立ち，署名人を選出した

議 長：松田卓也

署名人：杉山 直，郷田直輝

報 告

1. 前回議事録の確認（資料1）
杉山理事より前回（2003年9月25日）の理事会議事録が報告され，原案どおり承認された。
2. 今後の年会について
名古屋大学がホストとなる2004年春季年会について，佐藤理事から準備状況について報告があった。ポスター会場についても，十分な数および広さがあることが確認された。土居理事より，申し込まれた講演数は597で過去最高を更新したとの報告があった。2007年秋季年会について，岐阜大学より開催希望の立候補があり，補足資料に基づいて若松副理事長が事情説明を行った。
3. 「回転サーチライト等禁止の法制化についての要望書」（資料2）
小池百合子環境大臣宛標記要望書を，2003年12月11日に松田理事長，祖父江副理事長，若松副理事長，杉山庶務理事が環境省に持参し，西尾哲茂環境管理局局長に手渡した経緯と，その際の懇談について，杉山理事より説明があった。松田理事長から補足説明があり，祖父江副理事長からは，高速道路の上向き照明についての懸念が出された。
4. 創立100周年記念出版事業編集委員会
祖父江副理事長より，標記編集委員会の活動報告があった。2003年11月29日，第2回の編集委員会が開かれ，日本評論社を出版社として選定した。また，全15巻の内容のすり合わせを行った。各巻の内容案については，まもなくweb上に公開し，広く会員にアンケートを求める予定である。
5. その他
(1) 2004年秋季年会公開講演会について
田理事から，「天の川を旅する21世紀の銀河鉄道」というタイトルの講演会を行う予定であり，郷田直輝，真鍋盛二の両氏に講演を依頼したとの報告があった。

議 題

1. 2003年度事業報告書案（資料3）
2003年度事業報告案を杉山理事が説明し，質疑応

答の後、同報告書案は承認された。

2. 2003年度決算報告書案(資料4)

2003年度決算報告書案を関井理事が報告し、質疑応答の後、報告書案は承認された。その後、今後の予算の立て方などについて意見交換を行った。

3. 2003年度監査報告(資料5)

2004年1月7日に実施された監査の結果、上記事業報告案および決算報告書案が正当であると認められたことを監事の代理として杉山理事が報告し、理事会としても了承した。

4. 特別会計の基金化(内地・研究奨励・早川・林・記念出版)に関する内規の制定について(資料6)

関井理事より内部留保金(適切な使途が定まっている部分)が非常に高い水準になっていることが、文部科学省の担当官から問題とされた点についての説明があった。しかし、これは見かけの問題であり、実際には適切な使途が決まっている特別会計が内部留保に含まれているために、形式的に高い水準になってしまっている。特別会計を内部留保からはずすためには、内部規程を整備し、これらを基金とする必要がある。このことについて、意見交換を行い、次回の理事会までに関井理事が原案を作成することとなった。

5. 新入会員の承認(資料7)

杉山理事より、資料に基づき、新規加入者の紹介があり、承認された。

6. 天文教材小委員会の名称について(資料8)

2003年9月26日に行われた総会での議論に基づき、標記小委員会の名称について検討を行った。「日本天文学会委員会等に関する共通内規」の定めるところによれば、天文教材小委員会の名称(小委員会)は適切なものであり、一方、創立100周年記念出版事業編集委員会は創立100周年記念出版事業編集小委員会という名称とすべきという結論に至り、評議員会に提案することとなった。

7. その他

(1) 2007年秋季年会について、岐阜大学がホストとなり開催することが認められた。

(2) 次回以降の日程

次回の理事会は、春季年会中の3月22日(月)昼休み、次々回は7月3日(土)、国立天文台で行うこととなった。

2004年1月24日

議長 松田卓也 ㊞
 署名人 杉山直 ㊞
 署名人 郷田直輝 ㊞

【評議員会議事録】

日時: 2004年1月24日(土) 11:00~15:30

場所: 国立天文台大会議室(南研1階)

出席者: 太田, 岡村, 加藤, 小山, 須藤, 千田, 高橋, 福井, 安東, 家, 梅村, 大橋, 小杉, 佐藤, 観山, 山本 以上 16名

欠席者: 海部, 高原, 吉井, 池内 以上 4名

有効委任状提出者: 井上, 柴田, 舞原, 牧島, 谷口 以上 5名

他に理事会から、松田, 若松, 杉山, 郷田, 関井, 松原, 山岡, および東條事務長が参加した。

議事に先立ち、議長および署名人を選出した。

議長: 福井康雄

署名人: 高橋弘充, 大橋隆哉

報告

1. 前回議事録の確認(資料1)

杉山理事より前回(2003年9月26日)の評議員会議事録が報告され、承認された。

2. 「回転サーチライトなど禁止の法制化についての要望書」(資料2)および西尾環境管理局長会見と記者会見報告

小池百合子環境大臣宛標記要望書を、2003年12月11日に松田理事長, 祖父江副理事長, 若松副理事長, 杉山庶務理事が環境省に持参し、西尾哲茂環境管理局長に手渡した経緯と、その際の懇談およびその後の環境省記者クラブにおける記者会見について、杉山理事より報告があった。

3. 2003年度早川幸男基金援助者選考結果の報告(資料3)

選考委員会委員梅村評議員より、資料に基づき、2003年度の選考結果および執行結果について報告があった。採用者間に、支給率が満額支給と半額支給の2種類があるが、どのように決められているのか質問があり、選考の順位に基づいて決定しているとの回答があった。

4. 創立100周年記念出版事業第2回編集委員会報告

岡村編集委員長より、標記編集委員会の活動が次のように報告された。刊行の可能性を打診していた出版社7社のうち4社から企画書が出されたことを受け、2003年11月29日、第2回の編集委員会が開かれ、企画書の内容を吟味した結果、4社の中から日本評論社を出版社として選定した。また、全15巻の内容について検討した。各巻の内容の1次案については、まもなくweb上に公開し、広く会員にアンケートを求める予定である。

5. その他

(1) 旅費補助について

高橋評議員から、若手の会会員（約半数が正会員（学生））に対して行った、2003年度秋季年会旅費に関するアンケート（補足資料）について説明があった。この中で、学生が年会に参加するにあたり支出する金額のうち、所属機関から科研費などで補助される割合は、0%と80~100%の二極化の様相を呈していることが報告された。補足として、今回のアンケートから把握できる範囲で、当該年会に関しては、個人負担なしとするためには、総額150万円程の補助が必要であり、80万円程度が不足していた実態について、千田評議員より説明があった。続いて、関井理事より、学術交流費は現在のところ年間140万円程度の予算で推移していて、充足率が50%程度であることの説明があった。その後、学生で給料を受けている者の取り扱い等に関して、意見交換が行われた。

議 題

1. 天体発見賞，天体発見功労賞，天文功労賞，研究奨励賞，林忠四郎賞，欧文報告論文賞の2003年度の各受賞者の決定（資料4）

山岡天体発見賞選考委員長より、天体発見賞，天体発見功労賞，および天文功労賞候補の選考結果が報告された。天体発見賞6件3氏，天体発見功労賞2件2氏，天文功労賞3件4氏（長期的な業績1件1氏，短期的な業績2件3氏）であった。意見交換の後，それぞれ下記のような受賞者が満場一致で決定された。なお，推薦文については，一部加筆することとなった。

- 天体発見賞 板垣公一（4件），高尾 明（1件），西村栄男（1件）の各氏
- 天体発見功労賞 串田麗樹（1件），山本 稔（1件）の各氏
- 天文功労賞 長期的な業績として豆田勝彦氏，短期的な業績として高橋 進，杉江 淳，木下正雄の各氏（高橋，杉江両氏は共同受賞）

続いて，研究奨励賞選考委員である須藤評議員より，研究奨励賞候補者の選考結果が報告された。2件の推薦であった。意見交換の後，満場一致で下記のように決定された。なお，推薦文の一部加筆を行い，所属・年齢などを加えることとなった。

- 研究奨励賞 上田佳宏，小松英一郎の各氏

最後に，林 忠四郎賞選考委員長である佐藤評議員より，林 忠四郎賞および欧文報告論文賞の

候補者の選考結果が報告された。林 忠四郎賞1件2氏，欧文報告論文賞は該当なしであった。意見交換を行い満場一致で下記のように決定された。

- 林 忠四郎賞 蜂巢 泉，加藤万里子の各氏（共同受賞）
- 欧文報告論文賞 該当なし

なお，林 忠四郎賞選考委員会より林 忠四郎賞については，来年度も，今年度の被推薦者を加えて選考を進めること，今後の公募でも，推薦は2年間有効としたいという意向が報告され，評議員会としても了承した。欧文報告論文賞については，推薦件数が少ない現状を鑑みて，選考委員会から過去5年間における引用件数の多い上位10編の論文の著者について，自薦，また適当な会員に推薦していただくよう勧める，という選考委員会からの意向が示され，意見交換が行われた結果，評議員会としても了承した。

2. 2003年度事業報告書案（資料5）

2003年度事業報告書案を杉山理事が説明し，質疑応答の後，同報告書案は承認された。質疑応答では，佐藤評議員より，印刷部数に応じて科研費の刊行補助金が決まるという現行の方式の下で，電子版の普及によって，国内の物理系の欧文雑誌が発行部数減から危機的状況に陥っており，統合を考えているということが紹介され，欧文研究報告の対応について質問があった。このような印刷部数にのみ応じた補助金は，電子化が進んでいる実情に合わないことから，今後学術振興会に対して，電子媒体をも考慮して補助金を決定するように働きかけていくことが確認された。続いて，男女共同参画学協会連絡会に関連して，佐藤評議員より，物理学会では，常勤でない研究者でも科研費が出せるようにするためのアクションを行っている旨，報告があった。それに対して，加藤評議員から，本務校がない場合の非常勤研究者の科研費申請が問題になるなどの運用上の問題点はあるものの，改善を進めるべきであるとの指摘があった。同評議員からは続いて，男女共同参画学協会連絡会の要請に基づいて行ったアンケートについての補足説明があった。

3. 2003年度決算報告書案（資料6）

2003年度決算報告書案を関井理事が報告し，質疑応答の後，若干の字句修正の後，同報告書案は承認された。

4. 監査報告（資料7）

2004年1月7日に実施された監査の結果，上記事業報告書案および決算報告書案が正当であると認めら

れたことを監事の代理として杉山理事が報告し、評議員会としても了承した。

5. 会費未納者の除名について（資料8）

2002年度より会費を滞納している、正会員13名、準会員18名が杉山理事より報告され、除名が承認された。

6. 委員会および小委員会の名称について

理事会から評議員会への要請として、創立100周年記念出版事業編集委員会は、内規に照らしたところ、小委員会と名称を変更する必要があるので、了解をお願いする旨、杉山理事より説明があった。意見交換を行った後、当該委員会は名称を変更せず、内規に小委員会であることを明記すればよい、との

結論に至った。内規の変更については、理事会で原案をつくり、次回評議員会に提案することとなった。

7. その他

(1) 次回以降の日程

次回の評議員会は、春季年会中の3月23日（火）昼休み、次々回は7月10日（土）、国立天文台で行うこととなった。

2004年2月9日

議長 福井康雄 ㊟

署名人 高橋弘充 ㊟

署名人 大橋隆哉 ㊟

（社）日本天文学会へ2003年9月26日から2004年1月19日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

正会員入会者（40名）

今吉拓哉	東京書籍(株)	兵藤義明	京大・理(在学)
阿久津智忠	東大・大学院理(在学)／国立天文台	矢幡和浩	東大・大学院理(在学)
小西真広	東北大・大学院理・天文(在学)	上原麻里子	名大・大学院理(在学)
佐藤悟朗	東大・大学院理(在学)／ JAXA宇宙科学研究本部	江草美美	東大・大学院理(在学)
村上紀子	名大・大学院理(在学)	内藤聖貴	名大・大学院理(在学)
土屋健雄	大日精化工業(株)	中村雄史	山形大・大学院(在学)
中島廣一郎	鹿児島大・大学院(在学)	横山裕士	中央大・大学院(在学)
川越至桜	東京理科大・大学院(在学)	池之上文吾	国立天文台
藤本信一郎	熊本電波高専	加藤貴昭	筑波大・大学院(在学)
玉川 徹	理化学研究所	西村高德	北大・大学院理(在学)
永田 健	京大・大学院理(在学)	長倉隆徳	東大・大学院理(在学)／国立天文台
伊原千晶	東大・大学院理(在学)	高梨直紘	東大・大学院理(在学)
成本拓朗	京大・理(在学)	谷川 衝	東大・大学院理(在学)
張替謙一	京大・理(在学)	狐塚正樹	東大・大学院理(在学)／ JAXA宇宙科学研究本部
伊藤晋吾	名大・大学院理(在学)	Choi Yoon Kyung	東大・大学院理(在学)／国立天文台
金井陽子	名大・大学院理(在学)	中川亜紀治	鹿児島大・大学院理(在学)
林 暁子	名大・大学院理(在学)	鬼形 愛	中央大・大学院(在学)
尾崎 仁	東大・大学院理(在学)	岡田俊策	東京工大・大学院(在学)
成田憲保	東大・大学院理(在学)	安武伸俊	九州大・大学院(在学)
木内 学	京大・大学院理(在学)	村田孔孝	名大・大学院理(在学)

準会員入会者（6名）

田中綱基	京都工芸繊維大(在学)	權藤貴行	佐賀県在住
鷺津文雄	日本キヤスインスツルメンツ(株)	和田智秀	山形大・大学院(在学)
畠 浩二	岡山商科大附属高校	羽馬有紗	東大・大学院理(在学)／国立天文台

移籍会員

(準→正 2名) 伊藤孝士 国立天文台 馬場淳一 東北大・大学院理(在学)
(正→準 20名) 鶴山義晃 江之口英之 小池 修 川崎正寛 藤居文行 石原裕子 高木俊暢
堀内真司 藪内邦雄 星野栄喜 高橋卓志 武田 秋 吉田和資 山田 卓
山崎初男 前川紘一郎 富田憲二 小林英輔 藤堂 泰 秋葉 誠

正会員退会者 (30名)

伊藤雄樹 梅田裕介 三池 悠 和田晋平 前田晋教 本間賢一 斎藤晴江 松柳育子 大森 実
大橋宏幸 牧井康雄 内田修二 松本 剛 杉保昌彦 芝塚要公 吉澤 徹 渡辺ちさと 赤峰幸徳
夷藤雅純 井上一正 檜崎廣太郎 津川元彦 古澤彰浩 松峯公二 吉田慎一郎 井上大輔 河野 誠
田窪信也 松井孝博 宮崎真行

準会員退会者 (48名)

阿部容子 竹内端夫 佐藤桂子 片山雅義 滝口博臣 船越克己 板倉文爾 福田毅哉 浜中光治
進藤浩二 飯田浩行 山形典子 木下信雄 真貝寿明 亀之内 修 山瀬 宏 桃井 脩 丸山克己
堀田豊幸 広浜義治 廣石 健 西澤 廣 中條幸茂 中嶋幾子 田中克昌 伊達 誠 高野史郎
鈴木雅晴 塩田正勝 金川真一 加藤義雄 尾形 斉 井上志津代 相原 榮 角張洋平 浅草克己
伊賀小弓里 黒田智一 関 舜衛 田中 裕 肘井俊広 保里十志男 堀井雅代 松岡朋宏 松藤和弘
丸山稜人 森 正寿 森谷 一

早川幸男基金へのご寄付
(若手海外学術研究援助基金)

2004年2月4日に、(社)日本天文学会会員の佐藤明達氏より当基金へ500万円のご寄付を頂きました。
佐藤明達氏に御礼申し上げると共に会員の皆様にお知らせ致します。

社団法人 日本天文学会
理事長 松田卓也

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 濤崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智
平成 16年 3月 20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp